



## 【指数日足チャート】

### ▼ハンセン指数



### ▼上海総合指数



## 【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	21年末株価
NYダウ	34,079.18	-232.85	-0.68	-1.90	-6.22	36,338.30
NASDAQ	13,548.07	-168.65	-1.23	-1.76	-13.40	15,644.97
日経225	27,122.07	-110.80	-0.41	-2.07	-5.80	28,791.71
上海総合	3,490.76	22.72	0.66	0.80	-4.09	3,639.78
滬深300 (CSI300)	4,651.24	22.07	0.48	1.08	-5.85	4,940.37
ハンセン	24,327.71	-465.06	-1.88	-2.32	3.97	23,397.67
中国企業	8,537.97	-173.43	-1.99	-2.81	3.66	8,236.35

## 【株式概況】

### 先週の動き:ハンセン指数は2.3%安と3週ぶりに反落、上海総合指数は0.8%高

香港市場ではハンセン指数が2.3%安と3週ぶりに反落。米国の金融政策正常化やウクライナ情勢の緊迫化、香港での新型コロナ感染者の急増を受け、週を通じて神経質な値動きが続いた。中国の物価統計が弱い結果となったことで金融緩和への期待が高まったが、週末18日には中国当局によるネット企業への統制強化を嫌気した売りが膨らんだ。本土市場では上海総合指数が0.8%高と続伸。ウクライナ情勢の緊迫化を受けて大きく下落して始まったが、その後は週末まで4日続伸と持ち直す展開となった。

### 今週の展望:香港市場は神経質な展開か、ウクライナ情勢巡る報道が相場を左右

香港市場は神経質な展開が予想される。ウクライナ情勢を巡っては、「プーチン大統領が侵攻を決断した」と伝わるなど緊迫の度合いを増している。先週も情勢の変化で相場が大きく動いており、今週もウクライナ情勢を巡る報道に対して神経質に反応する展開となりそうだ。香港で新型コロナの感染者が急増していることも引き続き懸念材料。一方、本土市場はしっかりの展開か。中国政府が安定成長の維持に取り組むなか、3月5日には全人代が開幕する。全人代前は政策期待が高まりやすく、相場の支えとなりそうだ。

## 先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 薬明生物技術 (02269)	62.55	10.32
2 華潤ビール (00291)	62.85	6.08
3 サウス・チャイ (01928)	24.05	5.48
4 BYD (01211)	246.20	5.39
5 銀河娛樂 (00027)	48.65	4.51
6 信義光能 (00968)	14.38	4.20
7 石業集団 (01093)	9.71	4.07
8 中国蒙牛乳業 (02319)	49.70	2.90
9 舜宇光学科技 (02382)	191.90	2.07
10 万洲国際 (00288)	5.73	1.24

▼騰落率下位	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 美团 (03690)	188.00	-17.47
2 中国人寿保險 (02628)	13.76	-7.90
3 碧桂園服務 (06098)	51.60	-5.06
4 李寧 (02331)	78.60	-4.96
5 信義ガラス (00868)	21.65	-4.84
6 新奥能源 (02688)	121.00	-4.35
7 龍湖集團 (00960)	45.20	-4.34
8 JDドットコム (09618)	287.00	-3.88
9 中国平安保險 (02318)	66.70	-3.75
10 安踏体育用品 (02020)	124.20	-3.65

## ▼今週の主なイベント

- 2月21日(月)
- 【米国】プレジデントデーで休場
- 2月24日(木)
- 【香港】アリババ集団の決算発表(3Q)
- 【米国】GDP改定値(10-12月)

### ▼今週の期待材料

- ◆3月5日に中国で全国人民代表大会が開幕、安定成長維持に向けた景気下支え策への期待が高まる公算
- ◆先週発表の中国の物価統計が市場予想下回る弱い結果に、さらなる利下げなど金融緩和の余地膨らむ
- ◆週後半に米ロ外相会談開催へ、ロシアのウクライナ侵攻阻止に向けた外交的解決に期待

### ▼今週の懸念材料

- ◆ウクライナ情勢が緊迫化、バイデン米大統領はロシアのプーチン大統領が「侵攻を決断した」と発言
- ◆香港で新型コロナ感染の第5波が猛威、新規感染者の急増でさらなる行動制限強化の可能性も
- ◆中国政府がネット出前サービスの手数料引き下げを指示、プラットフォーム企業への統制強化懸念強まる

## 【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ HSBC (00005) : 22日に21年本決算を発表、市場予想は純利益3.1倍
- ☆ 東亜銀行 (00023) : 24日に21年本決算を発表、市場予想は36%増益
- ☆ 銀河娛樂 (00027) : 23日に21年本決算を発表、市場予想は黒字転換
- ☆ 香港証券取引所 (00388) : 24日に21年本決算を発表、市場予想は14%増益
- ☆ レノボグループ (00992) : ハンセン指数構成銘柄に再採用、3月7日付で発効
- ☆ 理想汽車 (02015) : 25日に21年本決算を発表、市場予想は赤字縮小
- ☆ 農夫山泉 (09633) : ハンセン指数構成銘柄への採用が決定、3月7日付で発効
- ★ 中国神華能源 (01088) : 1月の石炭販売量が15%減少、生産量は1%減
- ★ 海底撈國際 (06862) : 21年本決算は赤字転落の見通し、業績不振で減損損失拡大
- ★ アリババ集団 (09988) : 24日に10-12月期決算を発表、市場予想は59%減益

レポートは、株式会社DZHフィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZHが信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZHはその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZHで入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZHは、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZHは一切その責任を負いません。

DZHは、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZHおよびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容についてDZHは一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。